

東北ハイテク研究会

ニュースレター (No.23 2018.7)

(東北食農ネットワーク T-FAN)



東北食農ネットワーク” T-FAN” 第23号をお届けします。

第23号では、農林水産省の競争的研究資金「イノベーション創出強化研究推進事業」の平成30年度の採択結果についてお知らせします。

イノベーション創出強化研究推進事業について

◆農林水産省は、農林水産・食品分野に異分野の知識や技術を導入し、革新的な技術シーズを生み出すとともに、それらの技術シーズを事業化・商品化へと導き、国産農林水産物のバリューチェーンの形成に結びつける新たな産学連携研究の仕組みとして『「知」の集積と活用の中』を2016年に創設し、これまでにないスピード感をもって革新的な商品や事業等を生み出し、他者との協創を通じて、加速度的な市場形成を促進するオープンイノベーションの場を提供することを目指しています。

◆『「知」の集積と活用の中』に設立された産学官連携協議会には、2,464 会員（2018年6月21日現在）と119の研究開発プラットフォーム（2018年6月13日現在）が設立され、様々な活動を展開しています。

◆また、これまで皆様方が有効に活用してきた農林水産に関わる競争的研究資金補助事業「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（農食事業）」と『「知」の集積と活用の中』の研究開発モデル事業につきましては、2018年度から「イノベーション創出強化研究推進事業」に一本化されて実施されることになりました。

◆東北ハイテク研究会では、「イノベーション創出強化研究推進事業」への積極的な応募と採択実現に向けて積極的に支援活動を展開して参りました。2018年6月29日に当該事業の最終的な採択の公表が行われたので、ニュースレターに掲載させていただきました。

なお、東北ハイテク研が支援させていただきました13課題のうち6件が無事採択となりました。本当におめでとうございます。

平成30年度「イノベーション創出強化研究推進事業」の審査結果について

平成30年度「イノベーション創出強化研究推進事業」に応募のあった研究課題について、2次(面接)審査の結果、以下の通り採択課題を決定しましたのでお知らせします。

【応募数・採択課題数】

研究分野	応募数	2次(面接)審査 対象課題数	採択課題数
(1) 基礎研究ステージ	85	19	11
(2) 応用研究ステージ	83	21	11
(3) 開発研究ステージ	52	30	12
合計	220	70	34

(1) 基礎研究ステージ

受付番号	研究課題	研究代表機関名
a012	稔性回復遺伝子の複対立性を利用した環境誘導可能な雄性不稔の創出	国立大学法人北海道大学大学院農学研究院
a017	そば需要拡大のための「デンプン改変そば」の系統開発と評価	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
a031	降雨耐性大麦品種育成に資する技術開発	福岡県農林業総合試験場農産部
a032	トルコギキョウ立枯病害因子の探索と比較ゲノム解析を利用した抵抗性遺伝子座の同定	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門
a037	マダコ養殖の事業化に向けた基盤技術の開発	国立研究開発法人水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所海産無脊椎動物研究センター
a039	ジャガイモシロシストセンチュウ土壌調査のためのハヤブサ型ドローンの開発	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター
a043	ゲノム改変によるウイルス抵抗性作物創出に向けた基礎研究	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
a046	害虫内部の必須共生機能を標的とした低環荷型防除資材の開発	国立大学法人富山大学
a059	プロモーターゲノム編集技術の化学生物学的イノベーションによる主要作物の種子収量増産に関する開発研究	国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センター
a077	細胞質雄性不稔性の利用によるトマトの効率的なF1採種システムの構築	国立大学法人筑波大学生命環境系
a085	大麦と病原ウイルスの遺伝子対遺伝子対応迅速検定法の確立とその利用法の開発	国立大学法人宇都宮大学農学部

(2) 応用研究ステージ

受付番号	研究課題	研究代表機関名
b004	農耕地からの一酸化二窒素ガス発生を削減し作物の増収・減農薬を実現する革新的微生物資材の開発	国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科
b007	土壌病害抑制機能を有する微生物と植物によるダイズ土壌伝染性病害防除技術の確立	公立大学法人秋田県立大学生物資源科学部
b011	AI 技術を活用した森林施業集約化のための効率的調査技術の開発	石川県農林総合研究センター林業試験場
b016	フリー配偶体の活用とサポート技術によるワカメ養殖のレジリエンス強化と生産性革命	国立研究開発法人水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所
b019	ウナギの雌化と食味に優れた大型雌ウナギの生産技術の確立	愛知県水産試験場内水面漁業研究所
b036	機能性アミノ酸高含有酵母の育種技術を活用した発酵・醸造食品の高付加価値化および海外ブランド化	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科
b041	作業分散・規模拡大のための超省力初冬播き水稲栽培法の確立	国立大学法人岩手大学農学部
b043	省力化を担保した丈夫な乳用後継牛を育成する高度哺育プログラムの開発	国立大学法人広島大学大学院生物圏科学研究科
b044	日本発！種子イチゴ苗を 1/3 の価格で提供してイチゴ生産を 180 度転換～ゲノム情報を活用した雄性不稔利用種子イチゴ品種開発	福岡県農林業総合試験場
b051	生産方式大転換！低紫外線下でも着色優良な単為結果性ナス新品種育種技術の開発	福岡県農林業総合試験場野菜部
b069	新育種技術によるアクリルアミド前駆体低濃度の加工用及び用途拡大でん粉原料用のバレイショ品種の開発	国立大学法人弘前大学農学生命科学部

(3) 開発研究ステージ

受付番号	研究課題	研究代表機関名
c001	サクラ・モモ・ウメ等バラ科樹木を加害する外来種クビアカツヤカミキリの防除法の開発	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
c008	世界初のアスパラガス茎枯病抵抗性品種育成と世界標準品種化への育種技術開発	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
c010	地場種苗・健康診断・経営戦略でピンチをチャンスにかえるマガキ養殖システムの確立	国立研究開発法人水産研究・教育機構 増養殖研究所
c016	先端ゲノム育種によるカドミウム低吸収性イネ品種の早期拡大と対応する土壌管理技術の確立	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター
c020	傾斜地における安全作業をサポートする電動式・移動式作業台車兼運搬車の開発	三晃精機株式会社
c021	用土を用いない空中さし木法による、コスト3割削減で2倍の生産量を実現するスギさし木苗生産方法の確立	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター九州育種場
c022	高度病害抵抗性アブラナ科野菜品種の育成	国立大学法人神戸大学大学院農学研究科
c023	うどんこ病抵抗性と密植栽培適性を備えた施設栽培用ダリア切り花用品種の育成	国立大学法人千葉大学大学院園芸学研究科
c026	次世代シーケンシング技術を用いた食用きのこ品種のDNA鑑定技術開発	国立大学法人東北大学大学院農学研究科
c040	薬用にも使える高品質ハトムギ品種の開発と高度利用	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター
c043	施設園芸の主要病害発生予測 AIによる総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発	公立大学法人秋田県立大学
c054	木材強度と成長性に優れた早生樹「コウヨウザン」の優良種苗生産技術の開発	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター